

生命保険 自営業者、個人事業主・フリーランス等の ライフマネジメントに関する調査 理想の人生には「健康」と「貯蓄・資産」

アクサ生命はこのほど、全国の20歳〜79歳の男女3000人を対象に、インターネットで「自営業者、個人事業主・フリーランス等のライフマネジメント」に関する調査(2024)を実施し、結果を取りまとめ公表した。調査期間は2024年8月6〜7日。以下、概要を紹介する。

アクサグループは2023年から世界各国の拠点で「未来がリスクであつてはならない」という一貫したテーマのブランドキャンペーンを展開している。日本でも24年11月より、人生を主体的にコントロールして自分らしく生きたいと願う自営業・個人事業主を応援するブランドキャンペーンを展開している。

今回の調査では、自営業者・個人事業主・フリーランス等の理想の人生や、感じているリスクとその対策、働き方に関する意識と実態、現在の職業に就くまでの歩み、そしてリスクを恐れず自分らしく生きたいという想いを掘り下げた。

また、学校を卒業してから現在の職業になるまでに経験した職業の数を聞いたところ、「現在の職業になる前に働いたこととはない」が8.4%、「一つの職業を経験している」が35.5%とあり、二つ以上の職業の経験がある人の割合は56.1%だった。

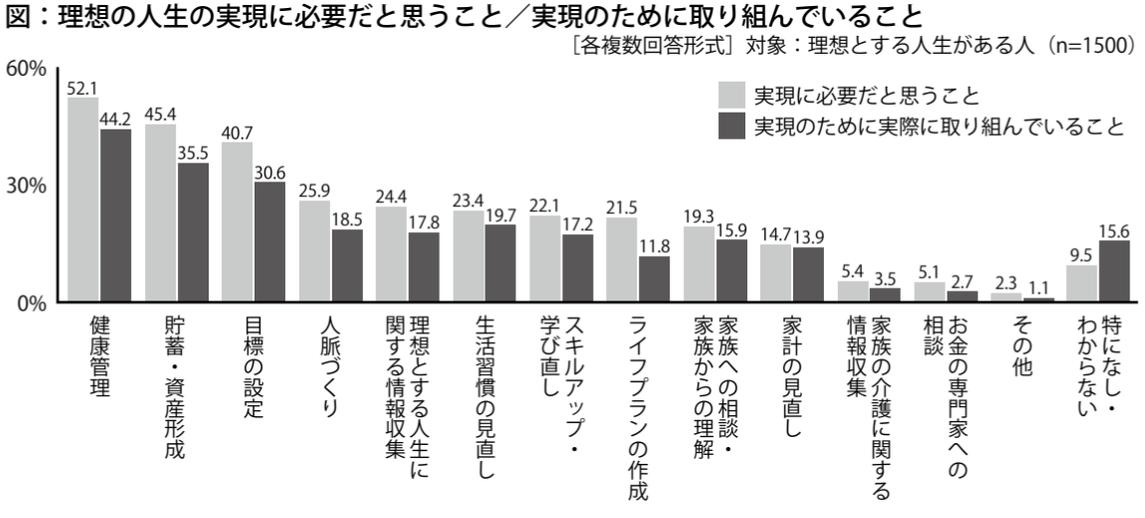
事業を自身で開業したか、親族等から継承したかを聞いたところ、「自分で開業した」が77.1%で最も高くなり、「自分の親族(配偶者除く)から継承した」が20.0%、「配偶者から継承し

た」が1.1%だった。男女別に見ると、女性では「自分で開業した」が83.8%と、男性(75.8%)と比べて8.0ポイント高くなった。現在の職業に就くきっかけを聞いたところ、1位が「自分の夢・目標」(41.1%)、2位が「前職の退職」(15.0%)、3位が「前職の勤め先への不満」(12.0%)、4位が「資格の取得」(8.5%)、5位が「知人からの誘い」(7.7%)だった。

男女別に見ると、女性は「自分の夢・目標」が50.0%と、男性(39.4%)と比べて10ポイント以上高くなった。全回答者に、現在の職業は「自身の理想の人生」を追求しやすい働き方だと思いか聞いたところ、「そう思う(計)」

は78.7%、「そう思わない(計)」は21.3%だった。多くの人が、今の働き方は、自身の思い描く「理想の人生」を実現しやすい働き方だと感じている結果になった。現在の職業が「自身の理想の人生」を追求しやすい働き方だと感じる人が、78.7%、「そう思わない(計)」は21.3%だった。多くの人が、今の働き方は、自身の思い描く「理想の人生」を実現しやすい働き方だと感じている結果になった。

理想の人生を実現に必要だと思うこと/実現のために取り組んでいること



「収入が不安定」では80.4%となり、大多数の人が、安定した収入が得られない点に不安を抱いていることが分かった。全回答者に、老後の生活資金のために公的年金以外で準備しているもの(投資信託・株・債券など)を聞いたところ、「預貯金」が最も高くなり、「NISA(少額投資非課税制度)」(24.2%)、「有価証券(投資信託・株・債券など)」(20.4%)、「個人年金保険」(17.3%)、「小規模企業共済」(10.7%)と続いた。

また、老後の生活資金と病気のけがの際の費用の準備状況を聞いたところ、「社会保険(公的年金)を通じて老後の生活資金の準備」(社会保険(公的年金)以外を通じて老後の生活資金の準備)「社会保険(健康保険)を通じて病気のけがの際の費用の準備」(社会保険(健康保険)以外を通じて病気のけがの際の費用の準備)のいずれの項目でも「不十分だと思つ(計)」(28.7%)、

「小規模企業共済」(30.9%)が全体と比べて10ポイント以上高くなった。現在の職業・働き方と、理想の人生を実現するために必要なこと(健康・貯蓄・資産形成)の両方について聞いたところ、「健康」が最も高くなり、「貯蓄・資産形成」が最も高くないが、今後は行いたい(計)は37.9%だった。全回答者のうち、理想とする人生がある人(1500人)に、理想とする人生が実現しているか聞いたところ、「理想とする人生がある」は50.0%、「理想とする人生がない」は50.0%と、両者が拮抗する結果だった。

理想とする人生の実現のために取り組んでいること/理想とする人生がない理由

理想とする人生がない理由

理想とする人生がない理由

理想とする人生がない理由